

コンゴ（共）月報（2015年11月）

主な出来事

【内政】

●6日、大統領により新憲法が公布された。

【外交】

●コンゴ労働党(PCT)の一行31名が、中国を訪問。

●レゾナ駐日コンゴ（共）臨時代理大使が安保理改革の重要性を主張。

●サス・ンゲソ大統領が COP21 に出席。

【経済】

●19, 20日、コンゴ投資フォーラムが開催された。

◎特にソースが明記されていない場合は、「Les Dépêches de Brazzaville」による。

【内政】

《新憲法及び2016年大統領選挙》

・2日、野党プラットフォームの Frocad と IDC は声明を発表し、ストライキをはじめとする市民的不服従の撤回を発表した。政治的緊張を緩和し、国際社会も推奨している対話での解決を求めていく姿勢を明確にした。また、10月20日の治安部隊との衝突で死亡した被害者に関する調査を求めた。

・6日、国営放送20時のニュースにヨカ司法・人権大臣とムンガラ・メディア大臣兼政府報道官が登場し、サス・ンゲソ大統領が新憲法公布手続きを行い、同時に発効したと発表した。新憲法では、旧憲法にあった大統領立候補の年齢制限規定（立候補時点で70歳未満）を削除し、大統領の任期は2期までとする規定も2度再選可能（3期まで可能）となったため、2016年7月に予定されている大統領選挙に、現職のサス・ンゲソ大統領が立候補できる条件が整った。

・7日、Frocad と IDC は、6日夕に発表された新憲法について、2002年の憲法に背く内容で無効であるとの見解を表明した。

・28日、ヨカ司法大臣はコンゴ（共）建国記念式典で、新憲法の公布を歓迎した。

《野党》

・19日、野党プラットフォームの Frocad は、ンブエレ前代表の辞任に伴い UPADS(汎アフリカ社会民主連合)のツァツィ・マビアラ党首を代表に指名した。

《国会》

・オンドンゴ財務大臣は、2016年予算案を国会に提出した。予算策定の方針として、経済多様化目標の実行を優先した。

【外交】

《COP21》

・サス・ンゲソ大統領は、COP21に出席するためパリを訪問した。会合の演説では、2度の温度上昇にとどめるための合意についてパリが最後のチャンスであり、先進工業国がこれまでの責任をとり、温暖化の抑制及び温暖化に起因する自然災害に対処するため、途上国に対する支援が必要であると述べた。

《要人往来》

・3日、ロシア訪問中のガコソ外務・協力大臣は、ラブロフ外相と会談し、両国内政や国際情勢につき意見交換した。ロシアは、コンゴ(共)の国民投票の結果を歓迎し、サス・ンゲソ大統領を支持すると述べた。またロシア側は、ウクライナ問題についてコンゴ(共)側の理解を得たと発表した。ブラザビルのロシア文化センターでは毎年3000人がロシア語を無料で学んでいる。パイプライン建設を念頭に、鉱物資源分野で二国間経済関係を強化することも確認した。ガコソ外務・協力大臣もロシア留学経験があり、今回叙勲を受けた。

・コンゴ労働党(PCT)の一行31名が、中国共産党の招待を受け中国を訪問した。中国行政学院や政府関係施設を訪問し、中国共産党の指導法の研修を受けた。

・フグ・ブラザビル市長は訪問先のパリで、若者ディアスポラのグループと会談し、先日パリで起こった暴力行為を非難した。パリのコンゴ(共)大使館では、昨日ディアスポラによる襲撃事件があり、器物損壊と職員がけがをし、実行者は警察に逮捕された。

・11日、サス・ンゲソ大統領は訪問中のアンゴラで、ドス・サントス大統領と会談した。サス・ンゲソ大統領はアンゴラ独立40周年式典に参加していた。

《マネーロンダリング及びテロ資金対策》

・3日、ブラザビルで仏語圏諸国を集めたマネーロンダリング問題、テロ資金に関する国際会合を開催した。欧州から仏、ベルギー、ルクセンブルグ等、総勢18カ国が参加した。

《国連改革》

・ボニファス・レゾナ駐日コンゴ（共）臨時代理大使のインタビューが掲載され、国連改革は喫緊の課題であり、安保理にアフリカの声を反映させなければならないと意見を述べた。

《対EU》

・20日、EU代表部大使はガコソ外務・協力大臣、ムンガラ・メディア大臣、ンブル内務大臣ら政府関係者と政治対話、選挙実施方法、人権につき意見交換した。EUは、新憲法国民投票に関する政治混乱を受けて、与党に対し対話による解決を求めている。

・18日、ンゴロPCT幹事長は独大使と会談し、統治機構改革、選挙制度改革で協力することを確認した。

・16日、サス・ンゲソ大統領はブラザビルにある仏大使館を訪問し、パリ同時多発テロ事件の犠牲者追悼のため記帳した。14日には、音楽家のRoga-Rogaも同様に犠牲者を追悼した。

《防衛協力》

・独、中、米、葡の4カ国の駐在武官認証式が国防省で行われ、モンジョ防衛大臣が出席した。

・3日、コンゴ（共）海軍とカメルーン海軍が地域協力の一環としてポワント・ノワール沖で海上安全のための合同演習を行った。

【経済】

・19、20日、コンゴ投資フォーラムが開催された。開会式でサス・ンゲソ大統領は演説を行い、投資環境の改善を図りコンゴへの投資を歓迎すると述べた。コンゴ（共）の耕作可能な土地12百万ヘクタールのうち、3%しか利用されていない。

・16日、オンドンゴ財務大臣は中部アフリカ諸国銀行総裁と会談し、原油価格の下落等あるものの、国内経済状況は良好であるとした。

・18日、ンヴバ産業開発・民間部門促進大臣は伊のビジネスグループと会談し、伊の支援でコンゴ・オセアン鉄道（CFCO）とブラザビル以北のコンゴ川上の船

着場を改修する計画を発表した。

・7日、マウング経済特区大臣は、ポワント・ノワールに建設中のカリ鉱石処理工場の建設状況を確認した。本工場は中国企業により建設されており、処理されたカリ鉱石は、海外へ輸出される予定。

【経済協力】

《中国アフリカサミット》

・12月3-5日に南ア・ヨハネスブルグで開催される中国アフリカサミットを前に、ブヤ大規模事業担当大臣は、新しく着任した中国大使と面会した。中国は、インフラ、教育、科学、商業分野でコンゴ(共)と緊密な協力がある。

《保健》

・11日、EU及び仏の支援で、看護師、助産師、医療技師に対する研修を行った。医療人材研修計画に総額5百万ユーロを計上している。

(了)